

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	総合文化教育課程
コース等名	文芸・芸能コース
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。 2. 自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。 3. 自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。 	
総合文化教育課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
多様な文化と高度に進展する社会に対応して、地域文化や言語文化、芸術、メディアを通じた表現を学んで、教育や社会の幅広い場面で活動する素地を養う。	
総合文化教育課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
多様な文化と高度に進展する社会に対応して、地域文化や言語文化、芸術、メディアを通じた表現を学んで、教育や社会の幅広い場面で活動する素地を備えている。	
文芸・芸能コースの教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 芸術・文学・言語等の幅広い分野の専門知識を修得し、それらの理論や研究方法を用いて高度な実践的研究を行う能力を涵養する。 2. 多様な文化と高度に進展する社会に適用できる、あらゆるメディアを通じた自己表現力を涵養する。 3. 社会の様々な場で活躍できる人材として、専門知識や技術ばかりでなく人間性をも成熟させる。 	
文芸・芸能コースの Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 芸術・文学・言語等の幅広い分野の専門知識を学び、それらの理論や方法を用いて論理的で専門性の高い研究活動を修めている。 2. 様々な社会の場面にこれらの専門知識を応用し、修得した能力を柔軟に発揮できる。 	